



海に浮くお城？

戦艦「大和」って、まるで海に浮かぶお城のように見えませんか？そのシルエットをつくりだしているのは「艦橋」です。



艦橋は船の「頭脳」

「艦橋」は、船の操縦はもちろん、目標までの距離をはかったり、戦闘時に船の乗組員へ命令を出したりする、人間で言えば「頭脳」に当たる場所です。戦闘の指揮に必要な様々な装置が設置されており、「艦橋」から艦内の各所に指示を伝え、船を動かします。

防空指揮所

双眼鏡がずらりと並んでいるね。

射撃指揮所

46センチ主砲の発射の指揮をとるよ。

10分の1「大和」の艦橋を説明するよ！

飛行機との戦いの時は、艦長がここで指揮をとるよ。外がよく見えるね。あ！見張りをしている人がいるよ！

第一艦橋（昼戦艦橋）

昼間の船との戦いの時、艦長はここで指揮をとるよ。また、船の操縦もここで指揮をとるんだよ。

作戦室

作戦を立てる会議室があるよ。

第二艦橋（夜戦艦橋）

夜間の船との戦いの時は、艦長はここで指揮をとるよ。

15メートル測距儀

目標までの距離を測るための装置で、主砲を発射する時にも使うよ。戦艦「大和」にはさまざまな大きさの測距儀が設置されているよ！探してみよう！

21号電探（2号1型）

この測距儀の上に設置されているのは「21号電探」といって、飛行機を発見するための見張用レーダーだよ！

え～！！
そうなんだあ。



艦橋には、エレベーターがついていたんだよ。ただ、艦長や各科長など、ごく限られた人しか利用できなかったんだ。

司令塔

分厚く頑丈な鉄の壁で囲まれ、守られているよ。緊急時はここから副長（艦長の次に偉い人）が指揮をとるよ。